

下増田地区防災マニュアル

～自分たちの地域を自分たちで守ろう～
“いざというとき”のために“今こそ”備えましょう

ひもを通して目立つところにおきましょう
家族で定期的に確認しましょう

名 取 市 ・ 下 増 田 地 区

目 次

1. はじめに	P1
2. 下増田地区の概要	P1
3. 過去の災害と教訓	P2
4. 下増田地区の災害対応と行動	P5
5. 下増田地区の災害予防と行動	P11
6. 下増田地区防災マップ	P14
下増田地区防災マップ【洪水浸水予測版】	P15
下増田地区防災マップ【津波浸水予測版】	P17
7. 平成28年～令和2年の災害と教訓	P19
8. 我が家の防災メモ・防災カード	P20
9. マイ・タイムラインシート	P23
10. 名取市からの情報とさまざまな情報の入手先	P24
裏表紙 下増田地区の避難場所など	

1. はじめに

名取市では、平成 25 年 12 月に東日本大震災の教訓や豪雨災害の経験を踏まえて作成した「名取市民防災マニュアル」に新たな知見や情報を加え、令和 2 年 9 月に新しい「名取市民防災マニュアル」を作成し、全世帯に配布しました。また、**大規模災害による被害を軽減するためには、地域の実情に応じた防災対策を、名取市と地域の皆さんが一体となって実践していくことが重要と考え、市と地域の代表の方とで作成した「下増田地区防災マニュアル（暫定版）」を、平成 26 年 4 月に配布しました。**

当時は東日本大震災からの復興途上であったため「暫定版」としていましたが、地区の復興も進んだことから、再び地域の代表の方に協力いただき、最新の防災に関する基準を加えて「下増田地区防災マニュアル」を作成しました。

2. 下増田地区の概要

地形・地勢

- 下増田地区は面積が 12.25km²、東西に約 3.9～4.4km、南北に約 2.3～3.6km です。
- 東側は太平洋に面し、地区の中央には増田川が流れています。
- ほとんどが標高2～3m程度の低地で、津波や洪水で浸水しやすい地区です。
- 海に近い地区は災害危険区域であるとともに地震動により液状化する恐れがあります。
- 県道塩釜亘理線は日頃から大型車などの交通量が多くなっています。

世帯・人口

- 下増田地区は、東日本大震災で被害が大きかった仙台東部道路より海側に広く位置し、約 3,132 世帯、8,099 人が住んでいます（令和 3 年 2 月末現在）。
- 下増田地区は、新興住宅地である美田園が急速に発展しており、名取市全体と比べて、高齢者の割合が比較的少なく、乳幼児が多い地区です。

大字	世帯数	人口	乳幼児	高齢者 65 歳以上	その他 年齢層人口
下増田※	258	675	23	214	438
美田園	2,717	7,010	583	702	5,725
杉ヶ袋	157	414	7	155	252
下増田地区全体	3,132	8,099	613	1,071	6,415
名取市全体	31,958	79,522	4,316	18,321	56,885

※杜せきのした四丁目を含みます

令和 3 年 2 月末現在

3. 過去の災害と教訓

災害名称及び 災害発生年月日	災害による被害状況
宮城県沖地震 昭和 53 年 6 月 12 日 (仙台市で震度 5)	ブロック塀の倒壊などによる死者、建物被害による多くの負傷者が発生し、都市ガスなどライフラインが停止しました。 名取市では、負傷者 200 人、全壊 17 棟、半壊 61 棟、一部損壊 1,623 棟の被害がありました。  倒壊した家屋※¹ (下増田屋敷付近)
8・5 豪雨 昭和 61 年 8 月 5 日 (累計雨量 400 ミリ)	台風 10 号の進路に、海上から多量の水分を含む東風が吹き込んだことにより、宮城県で記録的な豪雨となりました。 名取市では、軽傷 2 人、全壊 1 棟、一部損壊 10 棟、床上浸水 310 棟、床下浸水 1,410 棟の被害がありました。 下増田地区では、床上浸水 25 世帯 100 人、床下浸水が 81 世帯 435 人の被害がありました。  冠水した道路※¹ (下増田小学校東側付近)
9・22 集中豪雨 平成 6 年 9 月 22 日 (時間雨量 84 ミリ、 累計雨量 478 ミリ)	樽水ダムが満水となり、増田川がはん濫したほか、川内沢川、志賀沢川などの中小河川がはん濫しました。 名取市では、軽傷 1 人、全壊 2 棟、半壊 2 棟、一部損壊 8 棟、床上浸水 946 棟、床下浸水 1,737 棟、河川の損壊 15 か所、道路の損壊 129 か所、がけ崩れ 35 か所などの被害がありました。 下増田地区では、床上浸水 10 世帯 30 人、床下浸水が 91 世帯 326 人の被害がありました。  冠水した道路※¹ (杉ケ袋前沖付近)
東日本大震災 平成 23 年 3 月 11 日 (名取市で震度 6 強)	マグニチュード 9.0 の巨大地震により、強い揺れが約 3 分間継続し、巨大津波等により 923 人（うち、下増田地区では 86 人）（令和 3 年 3 月時点）の市民が犠牲になりました。4 月 7 日の深夜には、名取市で震度 6 弱の余震も発生しました。 ●東日本大震災の教訓（津波避難後のアンケート結果より） ・大きな地震の後には津波が来る。高い場所や遠くにすぐに逃げる。 ・災害時には早く避難する。津波警報や避難指示があったらすぐ逃げる。 ・同じ犠牲を繰り返さないために、津波の怖さや自然の恐ろしさを伝承する。 ・非常持ち出し品を準備し、いつでも持ち出せるようにする。 ・日頃から逃げるシミュレーションをしておく。 ・家族間で場面を考え、しっかり取り決めをしておく。  仙台空港に襲来した津波※¹  宮城県農業高等学校※¹  窓ガラスの落下 下増田小学校※²

※¹ 「名取市デジタルアーカイブ」から引用 、※² 「東日本大震災アーカイブ宮城」から引用

震災後の防災対策とまちづくり

下増田地区では震災後、防災対策としてかさ上げ道路の整備や、モーターサイレンの増設などが行われました。

・モーターサイレンを増設しました

沿岸部の3ヶ所（下増田雨水ポンプ場、日和山中継局、名取市斎場）に設置されています。

大津波警報や津波警報の発表をお知らせするものです。

災害の種類	サイレンパターン
大津波警報	(3秒吹鳴) (3秒吹鳴) ○-----○ ○-----○ (連続繰り返す) (2秒休止)
津波警報	(5秒吹鳴) (5秒吹鳴) ○-----○ ○-----○ (2回繰り返す) (約6秒休止)



巨大津波の襲来に備え、第1次防御ラインとしての防潮堤と、第2次防御ラインとしてのかさ上げ道路（市道広浦北釜線、市道閑上南北線）が整備されました。

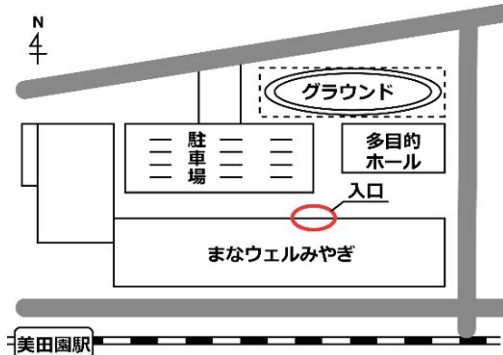


かさ上げ道路
（市道広浦北釜線）

津波緊急避難場所として、「下増田小学校」、「まなウェルみやぎ」、「潜匠建設株式会社」、「仙台空港ビル」が指定されています。（P15～P18 下増田地区防災マップに位置を掲載）



津波緊急避難場所
（まなウェルみやぎ）

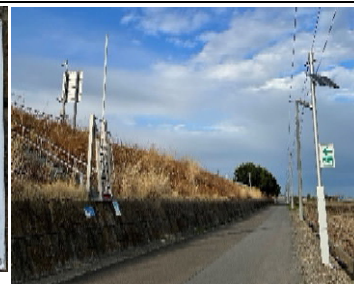


・仙台東部道路に避難階段が設置されました

東日本大震災の際に、津波から逃れるために高さ約6mの東部道路に住民らが駆け上がり、難を逃れました。

これを踏まえ、隣接する大曲に避難階段が設けられました。

（P15～P18 下増田地区防災マップに位置を掲載）



東日本大震災後の復興と取り組み

下増田地区には、2 つの防災公園が整備されたほか、津波で失われた海岸防災林を再生させる取り組みが行われています。

防災公園



「北釜防災公園」

「北釜防災公園」は、第2次防御ライン（市道広浦北釜線）の近くに位置します。公園内には一時避難場所となる高さ約10mの「避難丘」が備えられています。また、公園からは仙台空港を離発着する飛行機を間近に見ることもできます。

「広浦防災公園」



「広浦防災公園」は、下増田雨水ポンプ場の近くに位置し、「北釜防災公園」と同じく、一時避難場所となる高さ約9mの「避難丘」が備えられています。

海岸防災林の育成



平成26年から、海岸沿いの約100haの土地に「名取市海岸林再生の会」が育てたクロマツの苗木が植林されました。

苗木は順調に育ち、令和2年末現在、高いもので5mほどにまで成長しています。

この取り組みには下増田地区の多くのみなさんも参加しており、現在も育成活動を行っています。

※海岸防災林は、海からの強風、飛砂、高潮の害などから、田畑や人家などを守る、保安林に指定されている森林です。

※海岸防災林は津波のエネルギーを弱めたり、津波で流された漂流物を捕捉して、被害を低減させる効果も期待されます。

4. 下増田地区の災害対応と行動

地区で想定する災害

- ・下増田地区では、過去に地震、津波、水害のそれぞれで大規模災害が発生しています。このような大規模災害は、いつ、どこで、どのような形で発生するかわからないため、日頃から大規模災害への備えが必要です。
- ・また、近年の異常気象により、各地で時間雨量 100 ミリを超えるこれまで経験したことのないような豪雨が多発していることから、9・22 集中豪雨災害を上回る規模の水害が発生することもあります。

風水害から命を守るために

■対応の基本

- ・テレビ、ラジオなどからの気象情報等の情報に注意し、万が一に備える。
- ・浸水しない安全な場所に避難する。急な降雨や浸水など、外に避難することがかえって危険な場合は、建物の安全を確認し、自宅や建物の 2 階以上に**垂直避難**する。
- ・早めに避難し、浸水してからの避難は極力避ける。

日頃の備え

- ・自宅の保全や、自宅周辺の危険箇所や飛散するものがないかの確認、非常持出品・備蓄品の定期的な確認など、日頃から備えておきましょう。
- ・側溝や排水溝などを掃除し、水の流れをスムーズにしておきましょう。



災害が予想されるとき

- ・テレビ、ラジオなどで気象庁から発表される警報・注意報や、市からの情報に注意しましょう。
- ・台風が接近しているときや、豪雨の危険性があるときは、むやみに外出しないようにしましょう。

早めの避難

- ・早めの避難を心がけることが重要です。
- ・**「警戒レベル4」(P6、P23 参照) までに必ず避難しましょう。**
- ・道路が冠水している場合、車の運転は路肩の崩落や脱輪、さらには流される危険があります。道路が冠水している場合は、車での避難は避けましょう。



冠水時の運転は危険

気象情報の種類と意味

風水害は、「大気の状態が非常に不安定になっているとき」に発生します。

災害の恐れがある場合、気象庁はさまざまな防災気象情報を発表します。名取市は気象庁からの情報を参考に、避難に関する情報を発令します。防災気象情報が出されるタイミングやその意味を理解し、いざという時の避難に役立てましょう。

気象状況	気象庁等の情報			市の対応	住民の皆さんの行動	警戒レベル	
大雨の数日～約1日前	早期注意情報 (警報級の可能性)			警戒態勢の整備 ・消防署、消防団等との連携 ・情報収集、パトロール ・水防資機材、土のうの準備 ・休校などの判断、体制確認 ・水防団待機	災害への心構えを高める ・テレビ、ラジオ、インターネット 等による気象情報の確認 ・家族間の連絡 ・非常持ち出し品の準備 ・自宅周辺の安全確認	1	
大雨の半日～数時間前	大雨注意報 洪水注意報 大雨警報に切り替える可能性が高い注意報	高潮注意報	氾濫注意情報	警戒本部又は警戒配備の体制 ・水防団出動 ・自主避難所の開設、周知 災害対策本部又は特別警戒本部の体制	避難ルートの検討 ・ハザードマップで避難所、避難ルートの確認をする。 (避難先は必ず避難所とは限りません。自宅の2階以上への垂直避難や、より安全な知人宅もあります) 必要に応じて自主避難開始	2	
大雨の数時間～2時間程度前	大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	氾濫警戒情報	警戒レベル3 高齢者等避難 ・避難所開設、運営 ・情報伝達 防災行政無線、広報車、ホームページ、なとり防災メール、防災ラジオ、エフエムなとり、フェイスブック、テレビ(dボタン)など ・避難所の追加開設	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の方は避難の準備 ・避難所の開設情報の確認 開設されている避難所は、左記の情報伝達手段から確認してください。	3	
数十年に一度の大雨	土砂災害警戒情報	高潮警報	高潮特別警報	氾濫危険情報	警戒レベル4 避難指示 ・情報伝達	危険な場所から全員避難 避難完了	4
	警戒レベル4までに必ず避難！						
	大雨特別警報		氾濫発生情報	警戒レベル5 緊急安全確保	すでに災害が発生しています。命を守る最善の行動をとってください。周辺の状況によっては屋外に出ることは危険な場合があります。	5	

(「避難勧告などに関するガイドライン」(内閣府)に基づき作成)

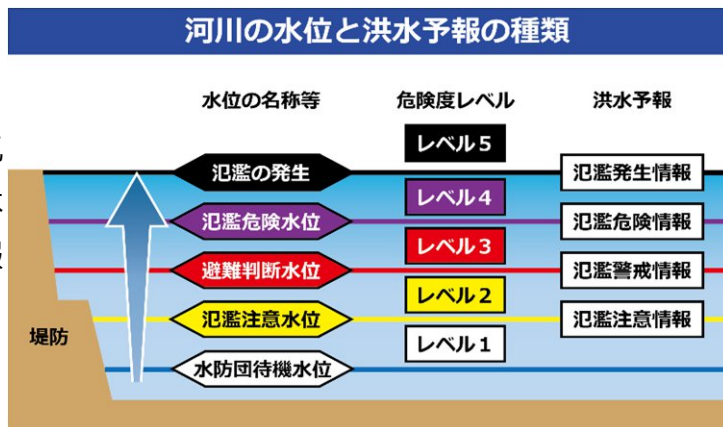
※上図は、令和3年6月頃に予定される制度変更を反映させたものです。

これまでの、警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」は「[高齢者等避難](#)」に、警戒レベル4「避難勧告」と「避難指示(緊急)」は「[避難指示](#)」に、警戒レベル5「災害発生情報」は「[緊急安全確保](#)」として運用されます。

※最新の気象情報や市の発信する情報に注意しましょう。

河川の近くでは十分に注意を

主要な河川に氾濫のおそれがある場合、洪水予報が発表されます。国管理河川は気象庁と国土交通省が、都道府県管理河川は気象庁と都道府県がそれぞれ共同して予報を出します。



防災気象情報は、以下から入手できます。

気象庁 仙台管区気象台	気象庁 台風進路情報	名取市防災情報 Twitter
天気予報、気象注意報・警報や防災気象情報を配信しています。	台風の進路に関する情報を配信しています。	気象庁から防災気象情報が発表された場合に、情報提供をしています。
		

～QRコード～

スマートフォンやタブレットなどで読み取れます。

Android のカメラで撮影するか
Googlechrome で撮影



iPhone のカメラで撮影



日頃から防災意識を高め、災害時には自ら情報を得て「**自分の命は自分で守る**」行動ができるようにしましょう。

家族で避難方法を決めておきましょう！

「下増田地区防災マップ【洪水浸水予測版】」（P15、16に掲載）で、危険な場所と安全な場所を確認し、日頃から家族で避難場所・避難経路、安否確認方法、集合場所を確認しておきましょう。



～「指定避難所」と「指定緊急避難場所」～

「指定避難所」と「指定緊急避難場所」の違いはつぎのとおりです。

名称	記号	説明
指定避難所		災害により自宅へ戻れなくなった人たちが一時的に滞在する施設です。被災した人が次の住まいを確保するまでの間、生活する場所になります。 下増田地区では、1 か所指定されています。（裏表紙に掲載）
指定緊急避難場所		災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類ごとに指定されます。 指定避難所が指定緊急避難場所を兼ねることもあります。 下増田地区では、4 か所（津波・風水害で 3 か所、津波で 1 か所）指定されています。（裏表紙に掲載）

地震から命を守るために

■対応の基本

- ・まず自分と家族の身を守る。
- ・地域の公園など安全な場所に避難し、自主防災組織、町内会で安否確認を行う。
- ・集会所で炊き出しなどを行い、要支援者を支援する。

まず身を守る！ 慌てずに落ち着いて行動！

- ・緊急地震速報や揺れを感じたら身を守り、夜間は、停電になっても慌てずに、けがをしないように落ち着いて行動しましょう。
- ・宮城県沖地震の教訓から、外にいるときや避難の際はブロック塀など倒れやすいものに気をつけましょう。



揺れが収まったら、火元の確認、隣近所に声掛け、情報入手

- ・火元や家族の安全を確認する。
- ・隣近所に声を掛け、お互いの安全を確認する。高齢者宅には、積極的に声掛けを。
- ・テレビやラジオ、インターネット（スマートフォンやパソコン）などで地震情報を入手する。
- ・避難などで家を離れる場合は、「通電火災」に備えてブレーカーを下ろす。



～「通電火災」～

「通電火災」とは、地震による停電が復旧した際、電気製品が再稼動したり、傷ついた電気コードがショートして、地震で散乱したものに引火する現象です。

避難の判断

- ・揺れを感じたら、身の安全を確保したのち津波の有無を確認しましょう。情報入手は、「名取市からの情報とさまざまな情報の入手先」（P24 に掲載）を参考にしましょう。
- ・津波を伴わない地震の場合、自宅建物の被害の程度や個人の状況により避難の有無を判断しましょう。
自宅が安全と判断した場合も、いつでも避難できるように準備しておきましょう。
- ・避難する場合は、避難経路に沿って速やかに避難しましょう。

津波から命を守るために

■対応の基本

- ・強い揺れや長い揺れを感じたら、津波を想定してすぐに逃げる。
- ・津波から命を守るために率先して避難する。
- ・『津波避難の3原則』を意識する。(P10に掲載)

大津波警報や津波警報の発表時にとるべき対応

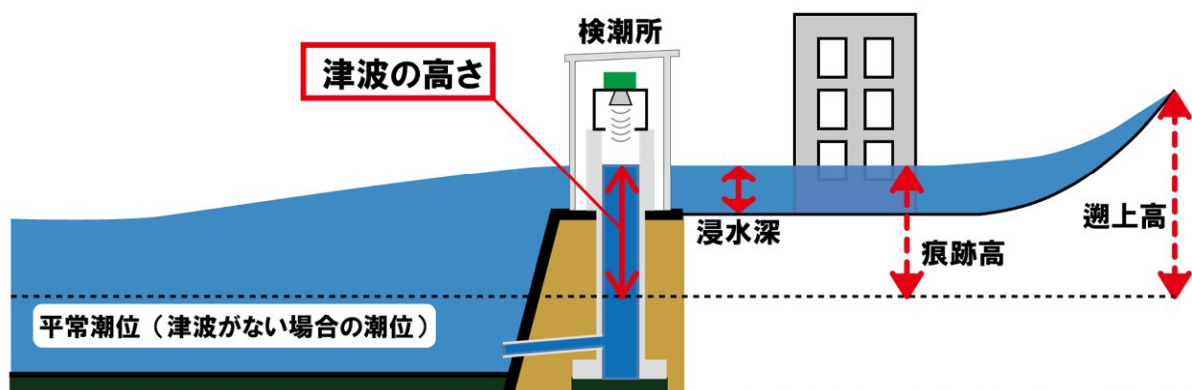
名取市では、大津波警報などが発表された場合、避難指示を発令しますが、**強い揺れを感じたり、弱くてもゆっくりとした揺れが続いた場合は発令を待たずに避難を開始してください。**

種類	発表される津波の高さ	発令種別	発令区域	行動
大津波警報	3m 以上 (巨大)	避難指示	下増田、閉上地区全域	近くの避難所等に 直ちに避難
津波警報	1～3m 未満 (高い)		仙台東部道路から東側	
津波注意報	1m		貞山堀から東側	

～「予想される津波の高さ」～

「津波の高さ」とは、津波がない場合の潮位（平常潮位）から、津波によって海面が上昇したその高さの差を言います。気象庁が津波情報で発表している「予想される津波の高さ」は、海岸線での値です。場所によっては予想された高さよりも高い津波が押し寄せることがあります、その旨を津波情報に記載することでお伝えしています。

検潮所における津波の高さと浸水深、痕跡高、遡上高の関係



※「津波について」（気象庁）より引用

命を守るための避難を！

- ・ 1 分、1 秒でも早く津波の来ない場所に避難しましょう。
- ・ 下増田地区には指定緊急避難場所が 4 か所あります（津波・風水害で 3 か所、津波で 1 か所）。
- ・ 徒歩での避難が原則ですが、車で避難の場合は渋滞などの状況を確認の上、仙台東部道路より内陸側へ避難しましょう。

下増田地区の指定緊急避難場所

名称	住所	対象となる災害
下増田小学校	美田園七丁目 23-3	津波・風水害
まなウェルみやぎ	美田園二丁目 1-4	津波・風水害
潜匠建設株式会社	美田園三丁目 16-1	津波・風水害
仙台空港ビル	下増田字南原	津波

※上記以外でも安全な場所へ避難してください。

～津波避難の3原則～

津波避難の3原則は、群馬大学大学院の片田敏孝教授が提唱するもので、東日本大震災の大津波襲来の際に釜石市内の児童・生徒が忠実に実行した結果、多くが無事であった事例から、防災教育で繰返し教えられているものです。

津波から命を守るためには、「**素早い避難**」が重要です。

原則 1. 想定にとらわれるな！

ハザードマップはあくまで想定であり、ハザードマップ通りに津波が来るとは限りません。想定にとらわれず避難をしましょう。

原則 2. その状況下で最善を尽くせ！

ここまで逃げれば大丈夫と考えるのではなく、その時できる最善の行動をとることが重要です。

原則 3. 率先避難者たれ！

いざというときなかなか「逃げる」という決断ができませんが、自分が率先避難者になるよう、勇気をもって行動に移しましょう。あなたの行動が周囲の人の命を救うことにもつながります。

5. 下増田地区の災害予防と行動

個人でできること（自助）

災害に対する話し合い、事前の取決め

この「地区防災マニュアル」や「市民防災マニュアル」などを見ながら、家族で避難の仕方や避難の場所を事前に話し合ひましょう。家族が一緒の場合だけでなく、ばらばらのときの集合場所や連絡方法も確認しておきましょう。



防災訓練への参加とコミュニケーション

自主防災組織や地区で開催される防災訓練に参加してみましょう。

訓練をしておく、いざというときに行動に移すことができます。

また、災害時いざというときに頼りになるのは隣近所の方々です。そのような時にお互いに協力できるよう、日頃からコミュニケーションをとりましょう。



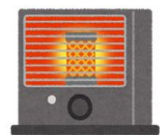
名取市総合防災訓練（平成 26 年 6 月）

非常持出品と災害備蓄品の準備

自分で持てる程度の非常持出品を用意するとともに、いざという時のために災害備蓄品として、飲料水や食料、懐中電灯や携帯ラジオ、救急用品などを準備しましょう。

備蓄品は、「**家族の人数×3日分**」が目安です。

～主な非常持出品・災害備蓄品～

 1人1日 3リットル	 非常食（缶詰、レトルト食品など） 3日分	 携帯ラジオ、 懐中電灯、乾電池	 マスク、消毒液、 体温計	 カセットコンロ、 コンロ用ボンベ、 ラップ
 紙おむつ、粉ミルク、 哺乳瓶など	 救急箱、靴、軍手 現金など	 常備薬、お薬手帳 保険証	 ペットフード ペット用水	 石油ストーブ

備蓄品
チェックリスト



ご家庭での備え



※内閣官房
内閣広報室サイトより

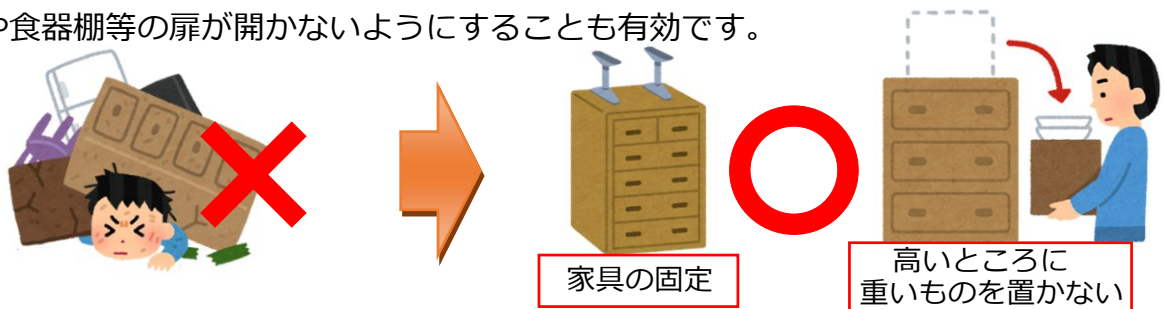
転倒防止対策の実施

阪神・淡路大震災では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには家具は必ず倒れるものと考え、転倒しないよう固定しましょう。

また、倒れた時に出入口をふさいだりしないよう、配置や向きを工夫しましょう。

なるべく背の低い家具にしたり、寝室や子供部屋にはできるだけ家具を置かないようにしたり、高いところには重い物を置かないようにしましょう。

タンスや食器棚等の扉が開かないようにすることも有効です。



自主防災組織・町内会でできること（共助）

「自分たちの地域は自分たちで守る」ために、自主防災組織・町内会で協力しましょう。

災害時の役割分担の確認

- ・ 自主防災組織・町内会の中で、安否確認や避難誘導などの役割分担を確認しましょう。

地区の防災訓練の実施

- ・ いざというときに落ち着いて行動できるように、避難訓練、消火訓練、応急手当などの防災訓練を実施するとともに、転倒防止などの啓発を行いましょう。
- ・ 避難所となる学校などを使用して、防災訓練を行うことも有効です。
- ・ 地区では、下増田小学校と連携して防災訓練が行われています。



地域の取り組み

- ・ 独自に地域の防災マップを作成している町内会もあります。
- ・ 地域の防災マップには注意箇所、生活情報や地域の避難場所などが記載されています。
- ・ 防災訓練などで、地域の防災マップにある注意箇所などを、みなさんで確認するなどしましょう。



地域で作成した防災マップ
(美田園 7 丁目)

「指定避難所」の開設・運営への協力について

名取市では東日本大震災当日、約 50 か所の避難所に約 1 万 1 千人が避難し、停電で真っ暗な中、余震などで不安な夜を過ごしました。長期の避難生活を余儀なくされた方は、地域の皆さんの温かい支援などにより、避難所の自主運営を行いました。

避難所運営には、地域住民や避難者のみなさんの協力が不可欠です。災害に備えて、普段から避難した後の行動や生活をイメージしておきましょう。

避難所が開設されたら、市や施設職員、自主防災組織に協力をお願いします。

【避難時の注意事項】

- ・避難する際には、自宅の電気のブレーカーを下ろしガスの元栓を閉め、非常持出品を持って避難しましょう。困っている人には、声をかけ、積極的な支援をお願いします。

【指定避難所の安全確認、避難所の開設・避難者の収容】

- ・市職員や施設職員が建物の安全確認を行います。

指定避難所では、建物の安全が確認されるまで、なるべく町内会ごとに建物の外で待機し、職員などの指示に従い避難所に入ってください。

【初期の避難生活】

- ・避難人数の確認、避難者名簿の作成、簡易トイレの設置、市からの食料・物資の配布などについて、協力をお願いします。下増田小学校には市の防災倉庫があり、発電機や投光器、簡易トイレなどの備蓄品が配備されています。

【長期の避難生活】

- ・町内会などの単位で班を編成し、避難所自主運営組織を作り、役割分担を定め、避難生活を行います。

救援物資は、発災直後は届きません。市からの支援が届くまで、各自で食料や防寒着、ミルクやオムツ、毛布などを持ち寄ることが重要です。

避難所での感染症対策について

避難所では多くの人が集まります。各自で感染対策を行い、すこしでも安心して過ごせるようルールを守り、助け合いながら生活を送りましょう。

マスク、消毒液、体温計などは個人で用意しておきましょう。



- マスクの着用
- 手指の消毒
- 咳エチケット

- 定期的な換気
- 定期的な清掃と、整理整頓
- 衛生面に配慮したごみの分別



6. 下増田地区防災マップ

防災マップに書き込みましょう

防災マップに、自宅の場所の印をつけ、家族で話し合った避難場所にも印をつけましょう。

自宅から避難場所までの避難経路も書き込んでみましょう。

特に水が溜まりやすい交差点など（防災マップの○印）がありますので、実際に避難経路を通ってみて、危険な場所、安全な場所を確認しておきましょう。

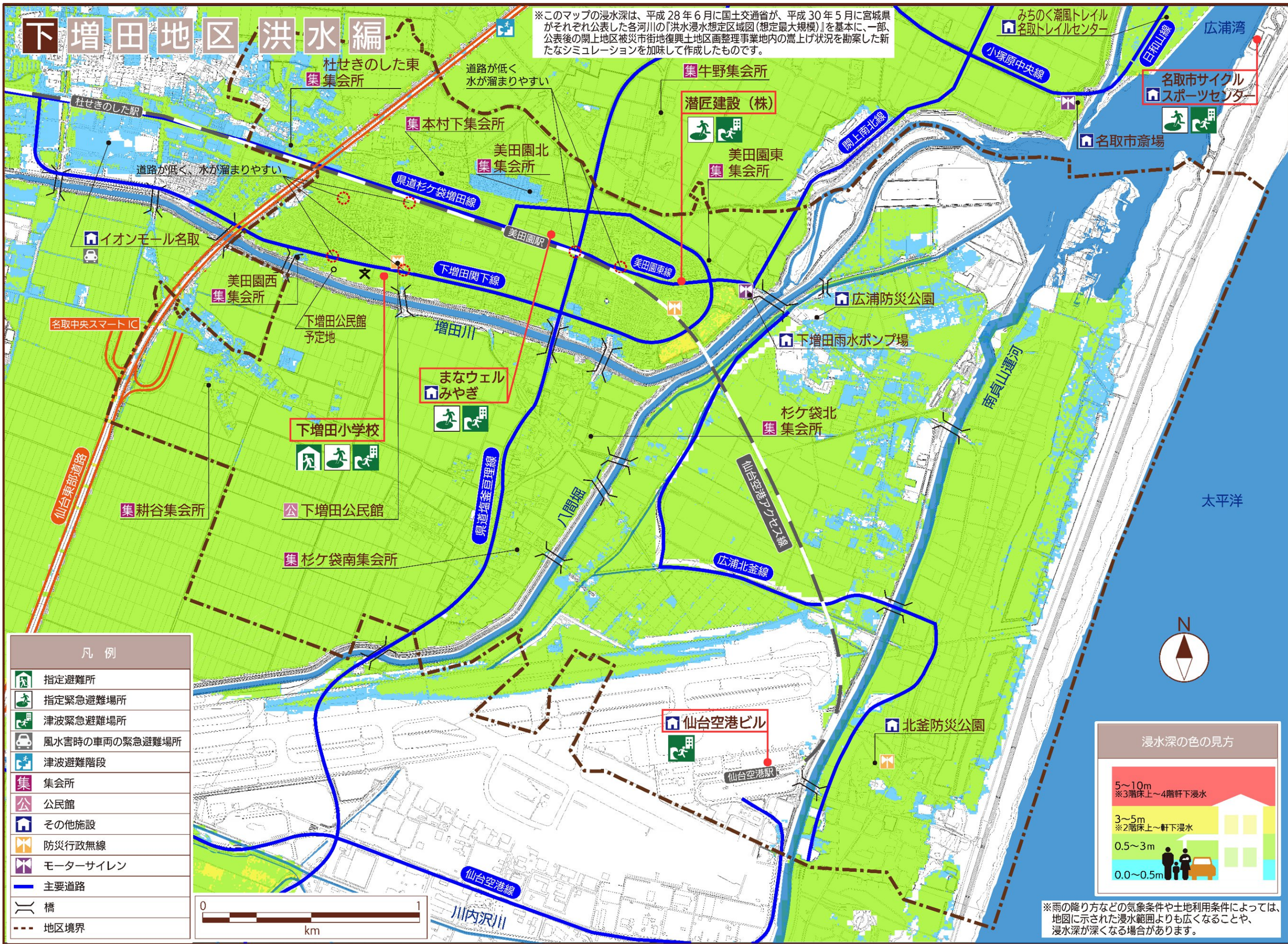
特に夜間などは、安全な避難経路で早めの避難が必要です。



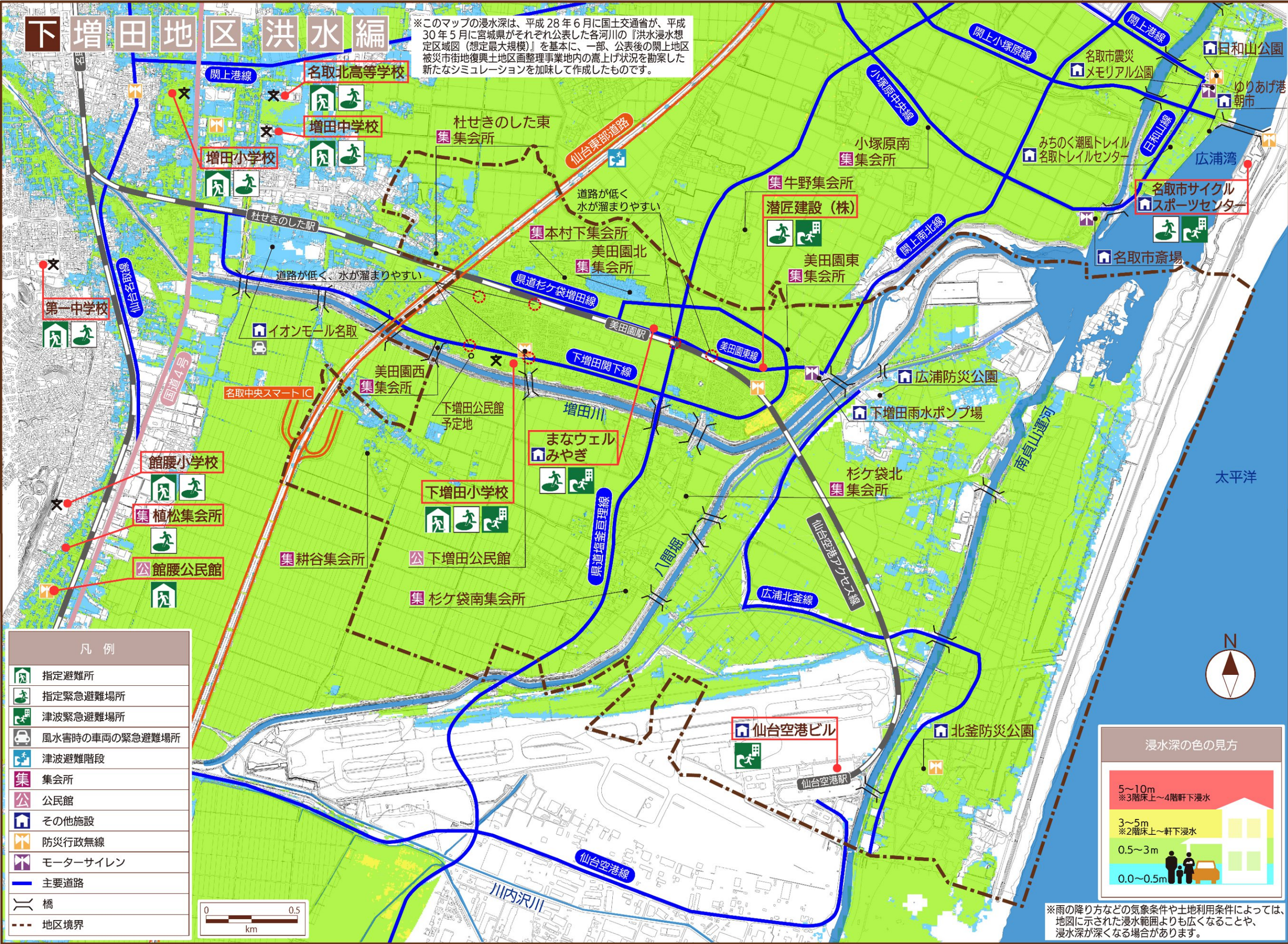
なお、マップに示す浸水範囲・深さは「想定以上の震度の地震が起きた場合」や、「雨の降り方などの気象条件や土地利用条件」によってはマップに示された浸水範囲よりも広くなることや、浸水深が深くなる場合がありますので注意が必要です。

6. 下増田地区防災マップ【洪水浸水予測版】

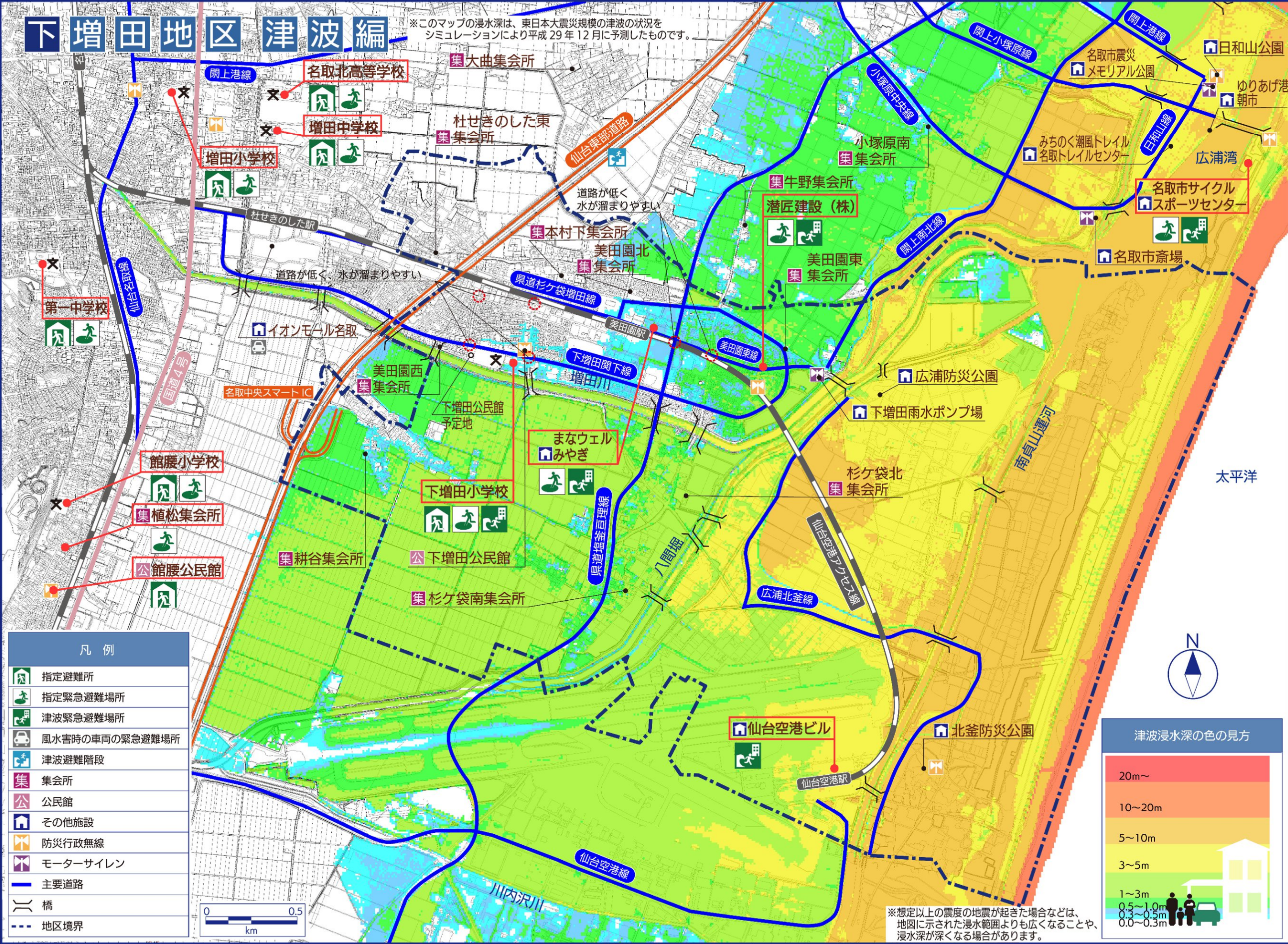
※裏面に「広域表示」を掲載しています



6. 下増田地区防災マップ【洪水浸水予測版】広域表示



6. 下増田地区防災マップ【津波浸水予測版】広域表示



7. 平成28年～令和2年の災害と教訓

全国で発生した災害から災害時の行動を考えましょう。

災 害	状 況	教 訓
熊本地震 (H28.4.14 : 前震) (H28.4.16 : 本震) (最大震度 7)	14 日 21 時 26 分頃、熊本県熊本地方を震源とする地震(前震)が発生し、益城町で震度 7 を観測した。さらに 28 時間後の 16 日 1 時 25 分頃、熊本地方を震源とする地震(本震)が発生し、西原村と益城町で震度 7 を観測した。	家屋の倒壊や土砂崩れにより 50 人が亡くなった。 ⇒古い家屋の耐震化、家具の固定。本震と同程度の前震や余震の可能性。
大阪北部地震 (H30.6.18) (大阪北部で観測史上最大の震度 6 弱)	7 時 58 分頃、大阪府北部を震源とする地震が発生し、大阪府 5 市区で震度 6 弱を観測した。ブロック塀倒壊による死者も発生した。	これまで確認されていなかった断層による地震。 ⇒地震はどこでも起こりうる。常に備えが必要。
平成 30 年 7 月豪雨 (H30.6.28～7.8) (総雨量 1,800mm 超)	台風 7 号と梅雨前線の影響により西日本を中心に大雨となった。広島県の土砂災害や岡山県倉敷市真備町の浸水被害により多くの死者が発生した。水害による死者が 100 人を超えたのは、平成に入ってから初めであった。	夜間に避難勧告や指示が出されることもある。真備町では、多くの人々が 1 階で亡くなっている。⇒事前の情報で早めの避難を検討する。避難が難しくなった場合は、垂直避難を。
北海道胆振東部地震 (H30.9.6) (最大震度 7 の直下地震)	3 時 7 分頃、北海道胆振地方中東部を震源とする地震が発生した。震度 7 を観測した厚真町では、土砂崩れにより 36 人が亡くなった。道内の半分以上の電気を供給していた火力発電所が被災し、大規模な停電が発生した。	震源から離れた場所でも、1 日以上停電が継続した。⇒常に災害に対する備えをしておく。
令和元年東日本台風 (R1.10.12) (関東・甲信・東北地方で記録的な大雨)	12 日に伊豆半島に上陸し、関東地方と福島県を縦断した。台風接近に伴い、各地で大雨となり 13 都県で大雨特別警報が発表された。気象庁は通常より早く、9 日に早期警戒を呼び掛ける第 1 報を出した。	台風上陸の 3 日前から、警戒情報が発出される。⇒事前に準備し、行動パターンを決めておく。
令和 2 年 7 月豪雨 (R2.7.3～7.31) (熊本を中心に九州や中部地方で集中豪雨)	停滞した梅雨前線の影響により、日本各地で大雨となった。特に 3 日から 8 日にかけては、九州で多数の線状降水帯が発生した。熊本では、3 日夕方時点で、4 日 18 時までの 24 時間雨量が 200mm と予想されていたが、実際には 400mm を超えた。	線状降水帯の発生により局地的な大雨となったが、線状降水帯の予測は難しい。⇒気象情報をこまめにチェックする。いつもと違うと感じたら早めに避難をする。

8. 我が家の防災メモ・防災カード

防災メモ 一 家族の状況一

氏 名 生年月日 血 液 型	かかりつけの病院 持 病 ・ 常 備 薬	携 帯 電 話 番 号 会 社 ・ 学 校 等 の 名 称 会 社 ・ 学 校 等 の 電 話 番 号
年 月 日 型 (Rh +・-)		
年 月 日 型 (Rh +・-)		
年 月 日 型 (Rh +・-)		
年 月 日 型 (Rh +・-)		
年 月 日 型 (Rh +・-)		
年 月 日 型 (Rh +・-)		
避難場所		
家族の集合場所		

防災メモ 一 我が家の状況一

東日本大震災での状況		家具の転倒		有 ・ 無	
平成 6 年 9・22 集中豪雨の時の状況		床上浸水 ・ 床下浸水 ・ 浸水なし			
建築年	昭和 ・ 平成 ・ 令和 年 (昭和56年より 前 ・ 後) ※昭和56年以前の建物は耐震診断を受けましょう				
家屋の構造	平屋 ・ 2階以上 / 木造 ・ 軽量鉄骨				
	平屋の場合：浸水時の避難先 []				
自宅の周辺	浸水しやすい地域に	ある	・	ない	
	近くにがけや斜面などが	ある	・	ない	
	風で飛ばされやすいものが	ある	・	ない	
災害時の備え	非常持出品の用意	有	・	無	
	災害備蓄品の用意	有	・	無	
	携帯ラジオの用意	有	・	無	
	消火器の用意	有	・	無	

防災カード

家族の基本情報を書き込み、コピーしてかばんなどに携帯しましょう。

● 家族の基本情報

ふりがな 名前	:	続柄	:
生年月日	:	年	月 日
血液型	:	型 (Rh + -)	
〒 —			
住所			
山折り			
電話	携帯:	—	—
	自宅:	—	—
勤務先または 通う学校 電話: — —			
●伝えておきたいこと お薬 持病 アレルギー その他			

● 家族の基本情報

ふりがな 名前	:	続柄	:
生年月日	:	年	月 日
血液型	:	型 (Rh + -)	
〒 —			
住所			
山折り			
電話	携帯:	—	—
	自宅:	—	—
勤務先または 通う学校 電話: — —			
●伝えておきたいこと お薬 持病 アレルギー その他			

● 家族の基本情報

ふりがな 名前	:	続柄	:
生年月日	:	年	月 日
血液型	:	型 (Rh + -)	
〒 —			
住所			
山折り			
電話	携帯:	—	—
	自宅:	—	—
勤務先または 通う学校 電話: — —			
●伝えておきたいこと お薬 持病 アレルギー その他			

● ペットの基本情報

ふりがな 名前	:	種類	:
生年月日	:	年	月 日 ♂・♀
かかりつけ医			
電話: — —			
●伝えておきたいこと (特徴・病気・ごはんなど)			
ふりがな 名前	:	種類	:
生年月日	:	年	月 日 ♂・♀
かかりつけ医			
電話: — —			
●伝えておきたいこと (特徴・病気・ごはんなど)			

～樽水ダムと放流サイレンについて～

樽水ダムは、洪水調節容量200万トンを有し、洪水調節（流入水をダムにためること）により洪水になることを防ぎますが、大雨によりダムへの流入が増え満水になると、洪水調節が行えなくなり、増田川に氾濫の恐れが出ます。

樽水ダムの状況と増田川の水位（上増田観測所）は、以下から確認できます。

宮城県土木部総合情報システム

https://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/miyagi_sp/



下増田地区には「耕谷警報所」と「寺野警報所」があり、大雨などで樽水ダムから水を流すときは、放流の合図としてサイレンが鳴ります。

サイレンが聞こえたら、川に近づかないようにしましょう。

サイレンの吹鳴パターン（3回繰り返し）



30秒吹鳴



3秒休

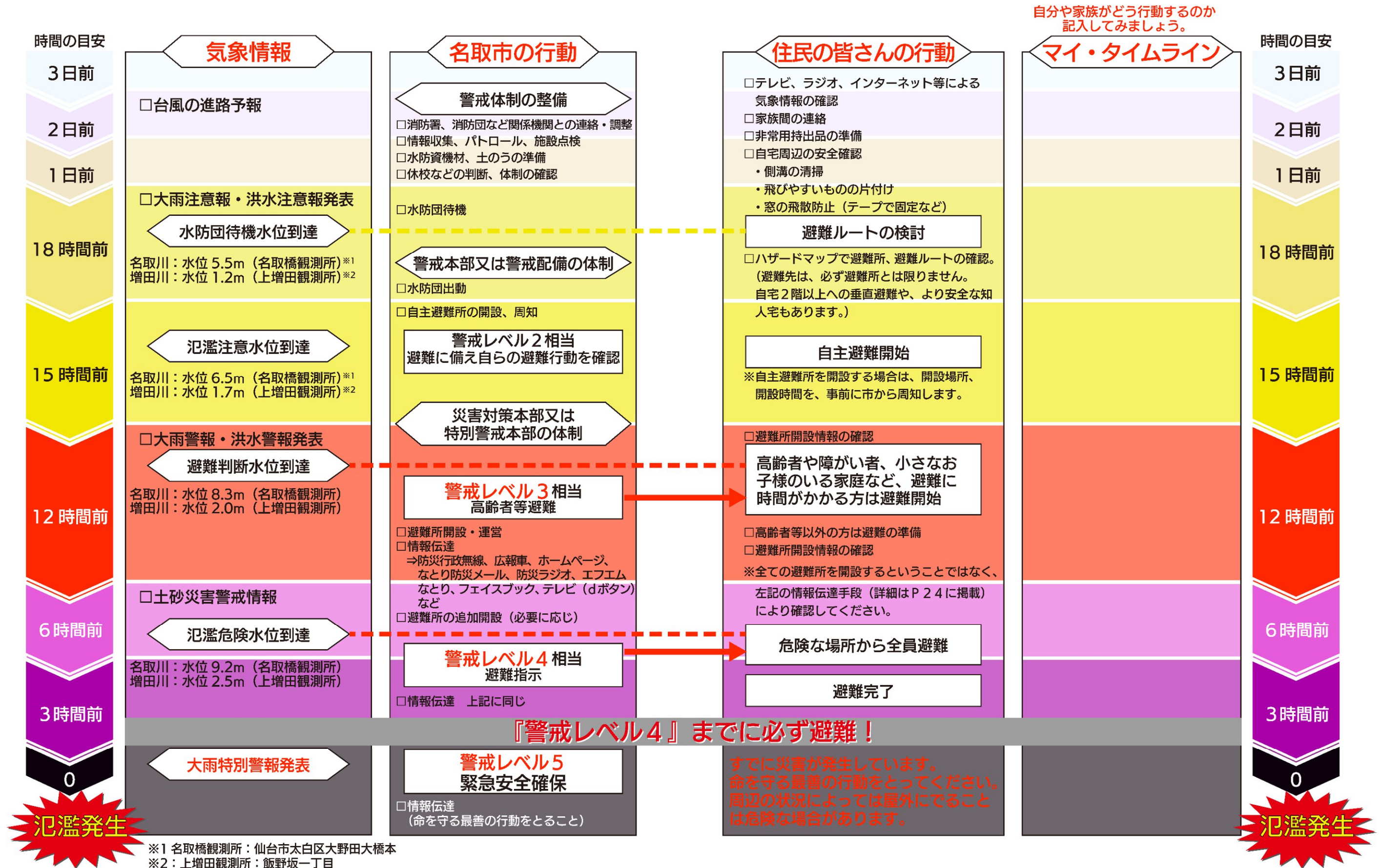
5秒吹鳴

5秒休

9. マイ・タイムラインシート

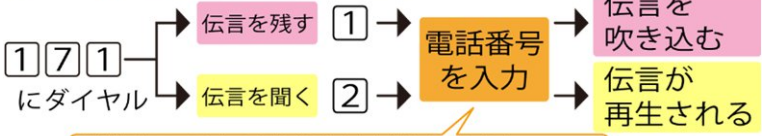
マイ・タイムラインとは、台風や大雨などの風水害の発生に備えて、一人ひとりの家族構成や生活環境などに合わせて、あらかじめ作成する自分自身の避難行動計画のことです。

自分や家族の行動について、「いつ」「だれが」「何をやるのか」を時系列で整理することによって、いざという時にあわてず、安全に避難できるよう、「自分の逃げ方」を見つけましょう。



10. 名取市からの情報とさまざまな情報の入手先

日頃から、情報の種類と入手先を確認しておきましょう。

名取市からの情報	防災行政無線	市役所と各地区公民館などに設置した、屋外スピーカー（屋外拡声子局）から放送を流します。	
	モーターサイレン	沿岸部の3ヶ所（日和山中継局、名取市斎場、下増田雨水ポンプ場）に設置したモーターサイレンから、大津波警報や津波警報の発表をお知らせします。	
	防災ラジオ	エフエムなとり（なとらじ 80.1MHz）を通じて、自動で起動・同調する緊急告知ラジオを有償配布しています。	
	なとり防災メール	市民の皆さんの安全の確保、不安の解消に役立てていただくよう、緊急時に地震・防災情報などをメール配信しています。受信するためには登録が必要です。	  メールで登録する方法 登録フォームから登録する方法
	名取市防災情報 Twitter	警報、注意報、特別警報や警戒情報が気象庁から発表された場合に、情報伝達手段のひとつとして情報提供を行います。	
さまざまな情報の入手先	気象庁 仙台管区気象台	天気予報、気象注意報・警報や防災気象情報を配信しています。	
	気象庁 地震情報	地震に関する情報を配信しています。	
	気象庁 台風進路情報	台風の進路に関する情報を配信しています。	
	テレビ(地上デジタル) dボタン	ご家庭のテレビで確認できます。リモコンのdボタンを押すと、データ放送画面が表示されます。	
	緊急速報メール	NTT ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話に送信されます。 ※情報は発信時点で市内にいる人に配信されます。また、機種により、設定が必要なものや受信できないものがあります。	
	災害用伝言ダイヤル 171	家族などの安否確認が確認できます。  被災地にいる人の電話番号（市外局番から）携帯電話、PHS、IP 電話の番号を入力してください。	

なお、名取市公式のホームページやフェイスブックでも様々な情報を発信しています。

下増田地区の指定避難所

名称	住所	電話番号
下増田小学校	美田園七丁目 23-3	022-382-3227

令和3年3月現在

下増田地区の指定緊急避難場所

名称	住所	避難の対象となる災害	
		津波	風水害
下増田小学校	美田園七丁目 23-3	○	○
まなウェルみやぎ	美田園二丁目 1-4	○	○
潜匠建設株式会社	美田園三丁目 16-1	○	○
仙台空港ビル	下増田字南原	○	—

令和3年3月現在

災害時の連絡先

区分	名称	電話番号
市役所	名取市役所	022-384-2111
警察 110	岩沼警察署	0223-22-4341
消防 119	名取市消防本部	022-382-0242
名取市休日夜間急患センター		022-384-0001
災害伝言ダイヤル		171

親戚・知人などの連絡先

氏名	電話番号	備考



名取市総務部防災安全課

〒981-1292 名取市増田字柳田 80

電話 022-384-2111